

五階

大柱

天守閣の2つの大柱は地下から5階まで延びている。丸い東大柱は、高さ25メートルの木の幹でできており、正方形の西大柱は、2つの長さの木材が巧みに結合され作られている。

強化

天守閣が建てられて間もなく、東大柱は建物の重さで歪み始めた。長年にわたり支柱を追加し補修してきたが、20世紀半ば、天守閣が修復される頃、大柱の先端は37cm傾いていた。